



765号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール roren@kensu.jp  
ホームページ http://www.kensu.jp/  
全国検数労働組合連合  
書記局



# より多くの仲間を職場で迎えよう 仲間をつくる取り組みをすすめ、24春闘へ結集しよう!

**労働組合が皆さんを支えます。**  
日本貨物検数協会・全日検に入会された新規採用の皆さん、おめでとうございます。

私たちは働きやすい職場環境をつくるために日本貨物検数協会の労働組合と全日検の労働組合という2つの組織が協力して活動している『全国検数労働組合連合』です。

私たちは職場環境の改善のために、様々な活動に取り組んでいます。一人では解決できない悩みや不安は、同じ職場で働く仲間と相談し、労働組合を通じて行動することによって解決につながります。

皆さんも検数労連の仲間となって働きやすい職場を目指しましょう。

**労働組合には多くの仲間がいます。**

皆さんはこれから検数員として各職場で働いていくと思いますが、最初は『何をしたらいいのかわからない』『誰に相談したらいいのかわからない』など不安に思う部分も多いかと思いますが、しかし、職場には検数労連の仲間が多くいます。労働組合では、誰か

が困っているときには相談に乗り、問題解決や要求実現のために、組合員に寄り添う活動を行っています。また、普段の職場では会えないような広範な仲間とも知り合うこともでき、幅広い仲間と交流を深めることができます。

**あなたの力が必ずやります。**

労働組合がより大きなものになれば、職場環境や労働条件をより良いものに変えていくことができます。そのためには、あなたの力が必要です。職場や職種が違っても目指すものは一緒です。ぜひ労働組合へ加入して、みんなの願いをみんなで叶えましょう。



## 24 国民春闘勝利！ 愛知自動車テモ

3月17日(日)『物価高騰以上の大幅賃上げと時間短縮で運輸業界の人材確保』

を」をメインスローガンに24春闘勝利 3・17愛知自動車テモが開催され、トラック・タクシー連転手をはじめ、約60名が参加し、検数労連名古屋支部からも執行部・青年部より10名が参加しました。

出発前の決起集会では、主催者を代表して尾崎実行委員長(検数労連)より「私たち交通運輸労働者の労働環境はこれまで進められてきた規制緩和により低賃金長時間労働を強いられ、人材不足に陥り、事業存続までもが危ぶまれている状況となっています。2024年問題では政府は人手不足の抜本的な解決もせず、新たな規制緩和で済ませようとしています。

また適正料金が収受出来る猶予がこの間あつたにも関わらず、しっかりと対策が講じられておらず、このままでは本当に物流崩壊が起ころうとしています。そうした私たち交通運輸労働者の声を本日の自動車テモで市民の皆さんにしっかりとアピールしていきましよう(要旨)」と挨拶が行われました。

その後、名古屋港区稲永(港湾福祉センター)から中区三の丸(愛知県庁)までの約15キロ

をトラック・タクシーなど30台以上でテモ行進が行われました。



## 九州日検オルグ

3月18日(月)石橋委員長、高木副委員長による九州日検24春闘オルグが博多中央港湾福祉センターで開催されました。

冒頭、地域を代表して宮路委員長より「2年ぶりの中央オルグに業務終了後に各職場より参加して頂き、大変ご苦勞様です。是非、今回の中央オルグを通じて、24春闘の情勢認識をしっかりと高め



て貰いたい(要旨)」と挨拶が行われました。はじめに高木副委員長より、24春闘情勢認識として、この間の日本の労働者の賃上げ状況や世界的にも大きな遅れを取っていることが報告されました。そしてインフレの波が押し寄せているなかで、重要な賃上げの局面を迎えているとして、検数労連24春闘交渉でもその点を協会に主張し交渉を展開しており、引き続き検数労連への結集が強調されました。

続いて石橋委員長より、これまでの24春闘の港湾団交の経過について、交渉に参加しているリアルな視点での報告や検数労働者に関わる要求(制度賃金・休日・65歳定年制・指定事業体等)の具体的説明が行われました。

また、いま政府が画策している港湾の軍事基地化は大きな問題であり、24春闘でも港湾労働者の命と安全を確保するために港湾を兵站基地にしないことを要求していることが報告されました。

参加者からは「物価の高騰により生活が増々苦しくなっている。有額回答へは協会の消極的な姿勢を覆して、しっかりと勝ち取って貰いたい」などの意見が上がりました。